

何を使う

機器 スマートフォン、PC（プロジェクタ）、HDMI ケーブル、大型提示装置
ソフトウェア（アプリ）

Bluetooth 通信（全体表示用）

QR コード生成アプリ（個人表示用）



それをどう使う（それで何ができる）

- ・Wi-Fi 環境のない教室での授業において、インターネット上の資料の共有が必要な場面で、スマートフォン上の画像や動画を Bluetooth 通信（無線）又は HDMI ケーブル（有線）で PC（プロジェクタ）に送り、大型提示装置で全体共有する。
- ・アプリを用いて生成した QR コードを、配付資料や大型提示装置の画面に掲載し、生徒が各自のスマホ等でコードを読み取って、必要な情報を表示する。

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

家庭基礎「エシカル消費：私たちの生活と SDGs」

【 Before 】

- 教科書・資料集等に掲載された資料や画像の提示



【 After 】 **メリット**

- 教科書等の画像だけでなく、専門家や公的機関が作成した動画等を活用するなど、最新情報や複数の比較情報を提示できる。例えばエシカル消費の学習では、各コンテンツ（外務省・Japan SDGs Action Platform 等）上の様々な情報を取り出して提示したり、「EARTH MALL」等のサイトで商品を購入する手順をリアルタイムで見せたりするなど、効果的な資料提示による全体共有が期待できる。
- QR コード生成アプリを用いて配付資料や大型提示装置の画面にコードを掲載し、生徒が手元のスマホ等で読み取り活用することで、効率的な資料検索を行うことができるとともに、大型提示装置に掲載した別の情報と比較するなどの工夫も期待できる。

機器 (台 数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学 習 場 面	一 斉	個 別	協 働
	○		○	大型提示装置			○	○	○
	スマホ（教員用1台）（生徒用各1台）								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		○	1人1台端末		△
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目 等		全ての教科・科目		
		○	○	○	活用が想定される場面		資料提示		